

令和7年産(6年播種) 麦類生育概況

長野県農業試験場 作物部

調査月日	項目	大麦:ファイバースノウ			小麦:しろゆたか		
		平年*1	令和6年(播 ～7年(産))	平年比	平年*2	令和6年(播 ～7年(産))	平年比
出芽揃い期	出芽数 本/m ²	156	185	119%	169	201	119%
越冬前 (12月16日)	草丈 cm	11.5	14.1	122%	13.9	15.2	109%
	茎数 本/m ²	354	812	229%	616	987	160%
	葉数	3.7	5.2	+1.5	5.1	5.2	+0.1
越冬後 (3月6日)	草丈 cm	12.3	17.1	139%	17.4	17.8	102%
	茎数 本/m ²	794	1572	198%	1288	1573	122%
	葉数	6.6	7.5	+0.9	7.5	7.3	-0.2
(3月15日)	草丈 cm	15.8	17.5	111%	20.3	18.4	91%
	茎数 本/m ²	913	1188	130%	1263	1423	113%
	葉数	7.6	8.4	+0.8	8.5	7.7	-0.8
幼穂形成期 茎立期		2月27日	2月28日	+1	3月1日	3月3日	+2
		3月27日	3月23日	-4	3月25日	3月19日	-6
出穂期		4月27日	4月25日	-2	4月28日	4月29日	+1
成熟期		6月5日	6月3日	-2	6月13日	6月14日	+1
成熟期	稈長 cm	94	89	94%	84	86	102%
	穂長 cm	4.7	4.8	104%	8.4	8.9	106%
	穂数 本/m ²	452	607	134%	648	525	81%
収量	子実重 kg/a	69.6	74.9	108%	68.6	46.5 ^{※3}	68% ^{※3}
	容積重 g/l	696	667	96%	799	816	102%
	千粒重 g	38.4	35.7	93%	43.2	43.8	101%

※1 大麦の平年値は過去7年間における収量最大年と最小年を除いた5カ年の平均値
※2 しろゆたかは令和3～令和6年産の4年間の平均値
※3 今年度のしろゆたか子実重はバインダー収穫(プロット4条全てではなく中央2条のみ収穫)のため平年値と比較できない

＜耕種概要＞
栽培様式: 条間30cmドリル播
播種期: 令和6年10月22日 播種量: 7kg/10a
基肥窒素量: 6kg/10a
茎立期追肥窒素量: 2月26日 3kg/10a
止葉展開期追肥窒素量: 大麦4月16日 小麦4月25日 N2kg/10a

＜生育概況＞
出芽揃い期 播種後、高温で推移し、大麦、小麦ともに出芽数は平年比119%と良好であった。
越冬前 草丈、茎数、葉数ともに平年より前進している。11月～12月1半旬が期間を通じて高温であったことから生育が進んだと考えられる。(11月の平均気温は平年値が7.5℃、本年が9.3℃)
越冬後 3月6日時点の平年対比では、大麦は草丈は長く、茎数は多く、葉齢は進んでいる。小麦は草丈はやや長く、茎数は多く、葉齢はやや遅れている。1月が高温傾向であり、降雪が少ないことから根雪期間はほぼみられず、越冬後も生育が進んだと考えられる。
3月14日時点の平年対比では、大麦では草丈が長く、茎数は多く、葉齢は進んでいる。小麦では草丈が短く、葉齢は遅れている。茎数は茎立ちおよび無効分げつの退化が始まり、減少に転じている。
幼穂形成～茎立期 幼穂形成期は平年より大麦で1日、小麦で2日遅かった。大麦では越冬前後の生育は前進傾向であったものの、2月の気温が平年より低温傾向であったことから、大麦、小麦とも幼穂形成期は早まらなかったと考えられる。茎立期は平年より5日程度早かったが、これは3月中下旬の気温が高温傾向であったことから、生育が進んだと考えられる。
出穂期 4月は気温が平年並～やや高く推移し、出穂期は大麦では平年より2日早く、小麦は1日遅くなり、概ね平年並となった。
成熟期 成熟期は出穂期と同様に大麦では平年より2日早く、小麦では1日遅くなった。平年に比べ、稈長は大麦でやや短く小麦でほぼ同等だった。穂長は大麦でほぼ同等で、小麦ではやや長くなった。穂数は大麦で多く、小麦で少なくなった。これは大麦では生育がやや進んでいた状況で越冬後茎数が多かったことから穂数が多くなり、小麦は生育がやや遅れていたところに越冬後の茎数が過多となったことから無効分げつとなる茎が増加して、結果的に穂数が減少したと考えられる。
収量 大麦では穂数が多かったため子実重が平年より多くなったが、その分容積重と千粒重は小さくなった。小麦では容積重と千粒重はほぼ平年並みとなった。子実重については今年度はバインダー収穫となったため平年との比較はできない。

